

第1回 大腸癌肝転移データベース委員会 議事録

1. 開催概要

第104回大腸癌研究会学術集会

日時: 2026年1月23日(金) 11:00~11:30 浜松町コンベンションセンター

形式: Web会議併用

出席者: 川合一茂・石黒めぐみ・小林宏寿・上原圭・谷公孝・夏目壮一郎・オブザーバー

2. 委員長挨拶・新体制について

経緯: 大腸癌肝転移データベース合同委員会前委員長の高橋慶一先生から引き継ぎ、7月のタイミングで委員会として正式に発足。

構成: 大腸癌研究会と肝胆膵外科学会の合同委員会であり、両学会から同数の委員が参加する共同体制をとる。

目的: 新データベースの構築と運用、および蓄積されたデータの活用促進。

3. 過去に採択された研究課題の進捗について報告された。

採択論文数: 合計13件

Publish: 3題

投稿中: 3題

執筆中: 7題

新データベース運用開始後は、年間5~10本の論文発表を目指す。

4. 新規データベースにおける症例登録(EDCシステム)の進捗状況および倫理審査について

EDCシステム: 東京科学大学のEDCシステムを採用。石黒先生を中心に構築中で2月中に最終版が完成予定。ユーザーアカウントは一人あたり1アカウント発行される。

倫理審査: 2025年7月より日本肝胆膵外科学会及び大腸癌研究会の倫理審査委員の許可を取得。事務局(都立駒込病院)が所在する都立病院機構の倫理審査を12月に通過し完了。多施設共同研究であるが、症例登録のみの施設は共同研究施設扱いとはしない。論文文化の申請が採択され解析を行う施設は、その都度共同研究施設として追加登録し、倫理を更新する。

6. 症例登録および論文文化申請募集の方針

2026年には2018年~2019年の治療症例を、2027年に2020年~2021年の症例を登録予定(5年以上の予後データ確保のため)。

約4年分(2年単位×2回)のデータが蓄積された段階で、解析及び論文作成希望の募集

を行う。

前向き登録: 肝胆膵外科学会側の要望により、EDC を活用した前向き登録も並行して進める。

5. 今後のスケジュール (予定)

2月下旬: 本番環境のリリース。

3月: アカウント発行・各施設への周知開始。

4月: 本格的な症例登録の開始。

マニュアル整備: 操作説明動画を作成し、ホームページに掲載する。

文責 川合一茂